

独自のシステムで優良リサイクル・リビルト製品をスピード供給

株式会社 R & N 奈良県田原本町

平成 17 年 1 月 1 日に自動車リサイクル法が施行されたことにより、自動車業界では環境重視の考え方がさらに強まってきている。

そういった状況のなか、同リサイクル法が施行される前から環境問題に注目して、自動車部品供給の新たなビジネスモデルを作り上げた企業がある。奈良県田原本町に本社を置く株式会社 R & N では、環境に配慮した「リサイクル・リビルト製品」を製造し、整備、修理におけるコスト削減や地球環境の保全に対する意識向上といった、最近の顧客ニーズにマッチした独自の製造・販売システムを確立している。

会社概要



会社名：株式会社 R & N
 所在地：奈良県磯城郡田原本町
 小阪 216-6
 電話：0744-33-3201
 F A X：0744-34-2323
 設立：平成 13 年 7 月
 代表者：代表取締役社長 林 礼二
 資本金：1,000 万円
 従業員：33 名
 事業：リサイクル自動車部品の
 製造・販売



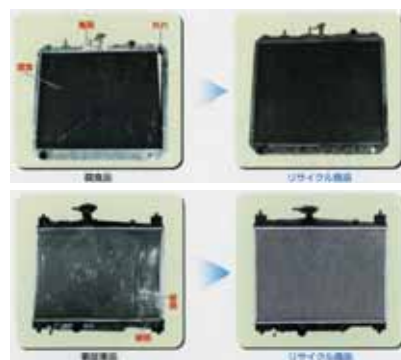
本社社屋

リサイクル・リビルト製品を創出

株式会社 R & N は平成 13 年 7 月に株式会社アール アンド エヌとして創業。規則改正により社名にアルファベットが使えるようになったことから、平成 15 年 4 月に今の商号に変更した。主力の製品は自動車のラジエーターとコンデンサーの「リサイクル・リビルト製品」である。

「リサイクル・リビルト製品」とは、消耗・劣化や事故などで傷んだ部品を分解して、部品交換や修理をし、それを再び組み立て、品質の確認や清掃などを行ったうえで商品化したものである。中古部品とは違い、細部にわたり厳しいチェックが行われ、不具合な箇所が修復されるため、性能は限りなく新品に近いという特徴を持っている。さらに、新品に比べ低価格であるというメリットもある。

同社のリサイクル・リビルト製品は「Make : R (メイク アール)」と名付けられ、平成 14 年に商標登録されている。「Make : R」には 18 か月の完全保証が付いている。長期間の保証がセットされているということは、製品技術に関する同社の自信の証であるともいえよう。



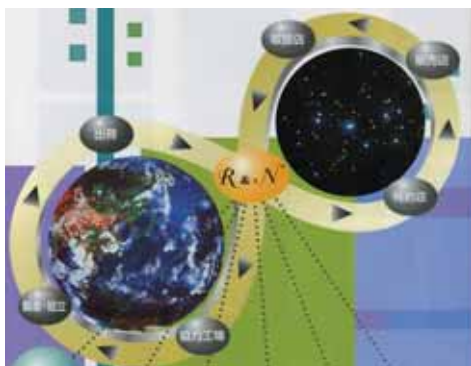
リサイクル・リビルト製品「Make : R」

独自の製造・販売システムを構築

創業当初は県内エリアといった狭い地域内での販売だったが、今や全国展開できるまでに大きく成長した。同社が全国展開できるようになったのは、実は独自で開発した製造・販売のシステムに

よるものが大きい。

同社の製造・販売システムは、下図のように2つのサイクルが組み合わされた∞（無限大）の形になっている。1つめのサイクルは製品の流れている。製品は同社から卸商である「特約店」→地域の部品商である「販売店」→自動車整備を行う「取扱店」と流れていく。取扱店で修理車に同社の製品を取り付けた後、不要となった製品は同社に送り返される。2つめのサイクルはリビルト製品製造の流れである。送り返された製品は同社または協力工場でリビルトされ、製品在庫となり、次の出荷に備える。



同社独自の製造・販売システム

このシステムは今でこそ完全に確立されているが、ここへ来るまでのプロセスが大変だったと林社長は当時を振りかえる。「まずは、ありとあらゆる車種に対応できるまでの在庫を確保する必要がありました。その際、どの車にどの部品番号のものが使われているかを把握することは相当大変な作業でした」（林社長）。

しかしシステムが順調に稼働するようになると、あとは製品を1つ出荷すると、サイクルを循環して取り替えられた部品が同社のもとに帰ってくるので在庫は一定に保たれる。

スピーディーな対応と供給が可能

同社が扱う製品は非常に種類が多い。例えばラジエーターを例にとってみると、ラジエーターの形状は、もちろん自動車メーカーによって違う。さらに、同じメーカーであってもエンジン、ボンネットの形やグリルと呼ばれる車の前部にある空気の吸入口の飾りによっても変わってくる。それ

だけではない、同じ車種でもオートマチック車とマニュアル車で違う。

このように相当な種類の在庫を持つ必要があるが、やみくもに多くのロットを抱えることは得策とはいえない。なぜなら、車の特性、用途やユーザーの年齢層などによってラジエーターやコンデンサーを交換する可能性の高い車種と低い車種があるからだ。したがって、高い車種の車ほど在庫点数は多く必要で、低い車種は少なくて済む。この車種ごとの在庫数調整の見極めをするのが同社独自のデータとマーケティング調査である。

また、完成されたシステムは、スピーディーな製品供給が可能である。リサイクル・リビルト製品は対象となる自動車とその車に使われている部品の品番がリンクしているため、車の検査証があれば製品在庫の有無や見積金額を10分以内で顧客に提示できる。これが同社の大きな強みなのである。

オンリーワン企業としての今後の展開

在庫をできるだけ持たない経営手法が主流となっている中であって、同社は可能な限り在庫を持つことで他社の追随を許さないオンリーワン企業となった。それは同社のリサイクル・リビルトのラジエーターとコンデンサー製品の在庫点数が4万を超えることからわかる。

今後の展開については、林社長は会社を急激に大きくすることは考えていないという。高品質のリサイクル・リビルト製品を製造するためには相当高度な技術が必要であり、会社が大きくなりすぎると現存の熟練工では製造が間に合わなくなる恐れがあるからだ。また、短期間での技術の承継も不可能である。だからといってもうけを重視して、未熟な工員に作らせる事は当然のことながらできない。

国内での環境に関する意識の向上やリサイクル法の施行などから、自動車補修用リサイクルパーツはこれからも需要増加の傾向が続いていくと考えられる。そういったなか、株式会社R&Nは高度な技術力と徹底した品質管理に裏打ちされた高品質のリサイクル・リビルト製品を今後も提供し続けていく。

（丸尾、武村）